

# 市川駅南口再開発事業における風対策について

平成20年6月

市川駅南口再開発事務所

## 1) 現在の状況

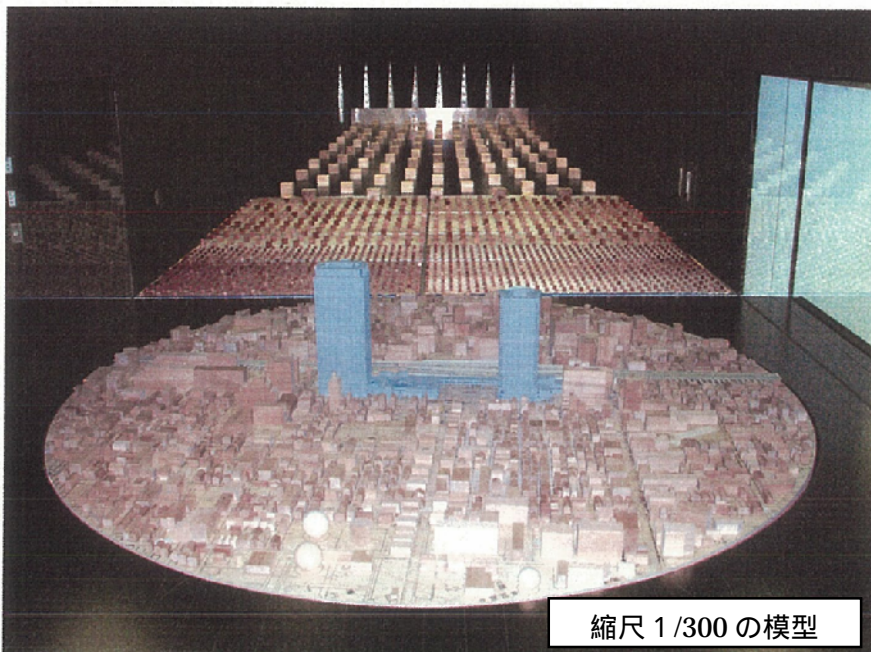
市川駅南口再開発事業における現在の進捗状況は、千葉側に建つB街区(37階建て)は完了(一部階段工事残し)し、東京側のA街区(45階建て)は躯体工事がほぼ終了している状況であります。そんな中で、近隣住民の皆様より、昨年12月頃からビル風の影響と思われる相談等が出始め、現在までに約30件の相談等が寄せられております。

その主な内容といたしましては、強風により看板が壊れたり、扉やシャッターがあおられ開閉が困難であったり、また、道路上も風みちになり歩行も困難な状況という相談等が寄せられております。

## 2) 事前の風洞実験について

市川駅南口再開発事業における風対策については、施設建築物の計画段階において、近年、一番信頼され多く採用されている「模型による風洞実験」で検証を行っております。

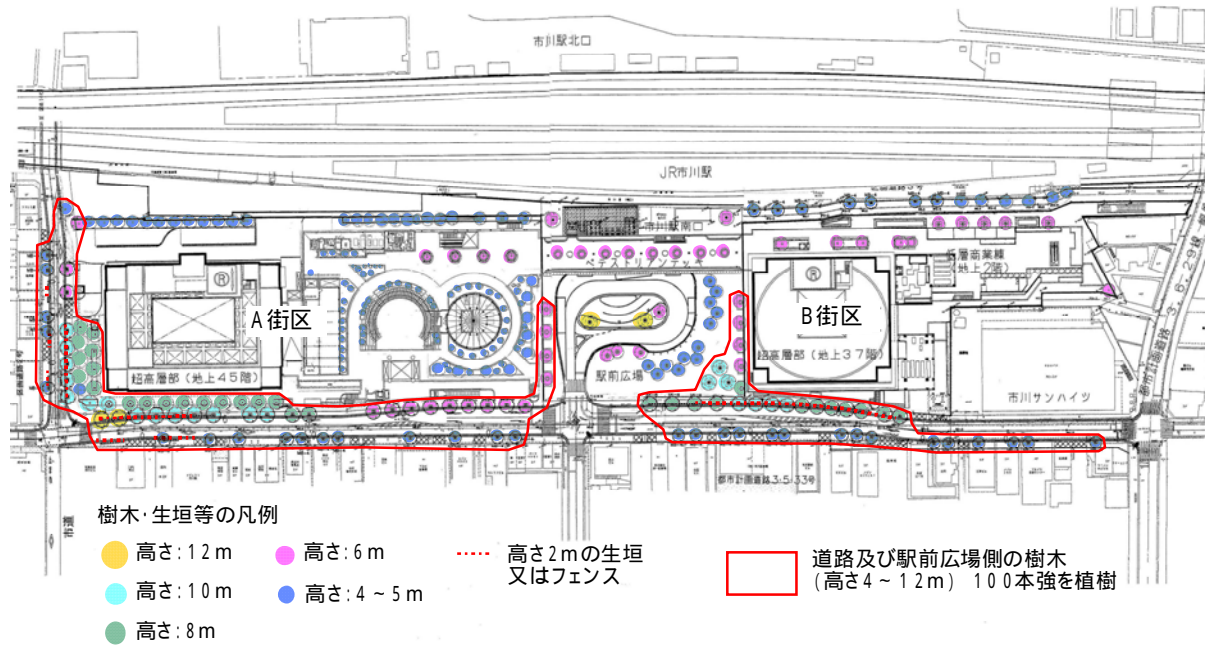
その実験内容は、当該事業区域を中心に直径約900mの範囲内のすべての建物について1/300のスケールで模型を作成し、過去5年間の風向・風速を基に、3つのケースで検証をしております。まず 建築前の状況での実験(従前の風環境)、 施設建築物の建築後で風対策を行う前の実験、 植栽等を配置するなど風対策を行った後の状況で実験を行っております。そして、その対策後は「商業・事務所ビル街」程度の風環境になると想定しております。



縮尺 1/300 の模型

### 3) 風対策について

風洞実験の結果、周辺道路及び駅前広場側については、高さ4m～12mの樹木を約100本近く植栽し、風対策を行う予定となっています。（赤枠部分が主に風対策による樹木）



拡大図は別紙参照

なお、この風対策による樹木の工事については、今年の9月からB街区側から順次整備を行います。工事工程上、風対策の樹木を一時期に整備することが難しい状況であるため、歩行者等の安全性を確保するため、風の強い日には警備員を配置し、注意喚起するなどの応急的な措置を行っております。

また、その他補助的な実験を行い、暫定的ではありますが防風ネット等を適所に配置するなど強風を和らげる措置を開始したところであります。

周辺の皆様や通行の皆様にはご迷惑とご不自由をおかけしておりますが、緑が豊かで交流のある街づくりを目指しておりますのでご協力をお願いいたします。



暫定防風フェンス